

平成25年度の決算について

(全般)

岩手大学の当期総損益は、1億3,000万円の赤字となりました。これは、平成16年度の法人化以降、初のことです。

赤字になった主な理由は、PCB廃棄物の処分費見込額5億9,200万円のうち、国から財源措置がされる7割を除く、3割分の1億9,400万円をPCB引当金繰入として臨時損失に計上したためです。

この損失処理にあたっては、前中期目標期間繰越積立金を取り崩すこととしております。

(財政状態)

施設・設備の整備として、国からの施設費補助金や岩手大学の目的積立金などを財源に、総合教育研究棟（化学系）及び大学会館の改修並びにものづくり研究棟の新営などの整備・充実を行いました。

その結果、資産は、過去最高額の661億8,300万円となっております。

(運営状況)

経常損益は2,600万円の利益を計上しましたが、前述のとおり、PCB引当金を計上したことにより、当期純損益は1億6,800万円の損失となりました。

なお、当期総損益は、前中期目標期間繰越積立金を活用した計画的な事業の財源である3,800万円を取り崩したことで、1億3,000万円の損失となっております。

(その他)

東日本大震災の復興については、当期において、被災学生授業料等免除、SANRIKU（三陸）水産研究教育拠点形成事業、地域防災教育研究拠点形成事業などの関連事業を遂行するとともに、次期以降に計画的に執行する部分を運営費交付金債務として計上しております。

平成25年度 財務諸表概要

貸借対照表

(単位:百万円)

	平成24年3月31日	平成25年3月31日	平成26年3月31日	前年度との差額
資産の部				
固定資産	58,990	60,394	61,393	998
有形固定資産	58,673	60,068	61,059	注1 991
土地	38,465	38,459	38,459	—
建物	12,584	13,691	14,322	631
構築物	1,141	1,262	1,341	78
工具器具備品	2,203	2,758	3,064	306
図書	3,687	3,678	3,684	6
その他有形固定資産	590	218	186	△ 31
その他の固定資産	317	325	333	7
特許権・ソフトウェア等	146	153	161	7
有価証券	150	150	150	0
その他	20	21	21	△ 0
流動資産	4,006	4,601	4,790	189
現金預金	3,442	4,244	4,205	△ 39
未収学生納付金収入	45	43	51	7
未収入金	387	225	注2 445	220
その他の流動資産	131	87	87	0
資産合計	62,997	64,995	66,183	1,187
負債の部				
固定負債	7,892	8,022	8,475	452
資産見返負債	6,832	7,080	7,368	注3 288
PCB引当金	—	—	194	注4 194
その他固定負債	1,059	942	912	△ 30
流動負債	2,870	3,798	4,506	708
運営費交付金債務	122	527	注5 1,249	722
外部資金債務	595	639	818	注6 179
未払金	1,509	2,236	2,015	△ 221
その他の流動負債	642	395	423	27
負債合計	10,763	11,821	12,981	1,160
純資産の部				
資本金	54,337	54,334	54,334	—
資本剰余金	△ 3,746	△ 2,500	△ 1,794	注7 706
利益剰余金	1,643	1,341	662	△ 678
前中期目標期間繰越積立金	1,000	529	315	注8 { △ 213
目的積立金	603	643	444	{ △ 199
積立金	—	—	32	32
未処分利益・未処理損失	39	168	△ 130	△ 299
純資産合計	52,233	53,174	53,201	27
負債純資産合計	62,997	64,995	66,183	1,187

注1 取得額3,187百万円、処分量△164百万円、減価償却額△2,031百万円。

なお、主なものは、総合教育研究棟(化学系)及び大学会館の改修並びにものづくり研究棟の新営に伴うもの。

注2 主なものは、国からの補助金及び施設費が4月(出納整理期)に交付されるため。

注3 主なものは、運営費交付金及び補助金を財源とする固定資産の取得や当該固定資産の減価償却などに伴うもの。

注4 PCB廃棄物の処分費見込額592百万円のうち、国からの財源措置がされる7割を除く、3割分194百万円の引当に伴うもの。

注5 既に交付された運営費交付金のうち、平成24年度分130百万円、平成25年度分1,118百万円を翌年度以降に繰り越して執行するため。

注6 主なものは、寄附金受入額316百万円、寄附金による事業の実施△153百万円。

注7 施設費、目的積立金を財源とする特定償却資産の取得額1,824百万円、処分量△92百万円及び減価償却額△1,028百万円。

なお、主なものは、総合教育研究棟(化学系)及び大学会館の改修並びにものづくり研究棟の新営に伴うもの。

注8 利益処分による積立額135百万円、取崩額△548百万円。

なお、取崩額の主なものは、ものづくり研究棟の新営及び動物病院の改修に伴うもの。

損益計算書

(単位：百万円)

	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日	前年度との差額
経常費用				
業務費	11,257	11,889	11,690	△ 199
教育経費	1,725	1,799	1,807	7
研究経費	840	1,591	1,328	注1 △ 262
教育研究支援経費	473	440	456	16
受託研究・受託事業費用	722	817	844	27
人件費	7,495	7,241	7,252	11
一般管理費	766	746	849	注2 103
財務費用	10	10	10	△0
その他の経常費用	0	4	0	△ 4
経常費用合計	12,034	12,651	12,551	△ 99
経常収益				
運営費交付金収益	6,832	6,937	6,658	注3 △ 279
学生納付金収益等	3,180	注4 3,472	3,316	△ 155
外部資金収益	858	968	1,010	42
施設費収益	16	78	141	63
資産見返負債戻入	609	701	830	129
財務収益	3	3	2	△ 1
その他	574	590	617	26
経常収益合計	12,074	12,752	12,577	△ 174
経常利益	40	100	26	△ 74
臨時損失				
PCB引当金繰入額	—	—	注5 194	194
その他	2	2	0	△ 1
臨時損失合計	2	2	195	192
臨時利益	0	2	0	△ 1
当期純利益・損失	38	100	△ 168	△ 268
目的積立金取崩額	—	0	—	△0
前中期目標期間繰越積立金取崩額	1	68	注6 38	△ 30
当期総利益・損失	39	168	△ 130	△ 299

注1 主なものは、運営費交付金によるSANRIKU(三陸)水産研究教育拠点形成事業に伴うもの。

注2 主なものは、総合教育研究棟(化学系)の改修に係る移転に伴うもの。

注3 主なものは、SANRIKU(三陸)水産研究教育拠点形成事業に伴うもの。

注4 平成23年度授業料のうち、東日本大震災の影響により平成24年度に収益化した210百万円を含んでいる。

注5 PCB廃棄物の処分費見込額592百万円のうち、国からの財源措置がされる7割を除く、3割分194百万円の引当に伴うもの。

注6 前中期目標期間繰越積立金を財源として消耗品等を取得したため。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日	前年度との差額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	1,600	2,484	1,329	△ 1,154
原材料、商品又はサービス購入による支出	△ 2,279	△ 2,641	△ 3,183	△ 541
人件費支出	△ 7,588	△ 7,580	△ 7,431	149
その他業務支出	△ 699	△ 431	△ 1,115	△ 683
運営費交付金収入	7,163	8,128	7,764	△ 363
学納金収入	3,222	3,142	3,100	△ 42
外部資金収入	1,413	1,470	1,801	331
その他	369	397	392	△ 4
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,390	△ 1,508	△ 1,189	319
固定資産の取得による支出	△ 1,773	△ 3,137	△ 2,548	589
施設費による収入	429	1,572	1,356	△ 215
利息及び配当金の受取額	3	3	2	△ 1
その他	△ 50	52	△ 0	△ 52
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 96	△ 172	△ 179	△ 7
長期借入金返済による支出	-	△ 36	△ 36	△ 0
リース債務の返済による支出	△ 86	△ 125	△ 132	△ 7
利息の支払	△ 10	△ 10	△ 10	0
その他	-	-	-	-
IV 資金に係る換算差額	△ 0	△ 0	0	0
V 資金増加・減少額	113	802	△ 39	△ 841
VI 資金期首残高	3,328	3,442	4,244	802
VII 資金期末残高	3,442	4,244	4,205	△ 39

利益の処分（損失の処理）に関する書類（案）

(単位：百万円)

	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日	前年度との差額
I 当期末処分利益(当期末処理損失(△))	39	168	△ 130	△ 299
II-1 利益処分数額				
積立金	-	32	-	△ 32
目的積立金	39	135	-	△ 135
II-2 損失処理額				
前中期目標期間繰越積立金	-	-	130	130
III 次期繰越欠損金	-	-	-	-

国立大学法人等業務実施コスト計算書

(単位：百万円)

	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日	前年度との差額
I 業務費用	7,473	7,652	7,843	190
損益計算書上の費用	12,036	12,653	12,746	92
(控除)自己収入	△ 4,563	△ 5,001	△ 4,903	98
(その他の国立大学法人等業務実施コスト)				
II 損益外減価償却相当額	958	954	1,027	72
III 損益外除売却差額相当額	7	59	92	33
IV 引当外賞与増加見積額	0	△ 20	27	47
V 引当外退職給付増加見積額	△ 3	△ 86	△ 459	△ 372
VI 機会費用	513	299	340	41
VII 業務実施コスト	8,949	8,858	8,871	12

決算報告書 -国のベースで計上した収入・支出-

(単位：百万円)

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
収 入			
運営費交付金	7,211	8,250	8,291
施設整備費補助金	397	1,530	1,414
補助金等収入	634	350	751
国立大学財務・経営センター施設費交付金	35	35	35
自己収入	3,608	3,596	3,354
授業料・入学金検定料	3,367	3,352	3,100
財産処分収入	—	3	—
雑収入	240	240	254
産学連携等研究収入及び寄附金収入	976	1,019	1,174
引当金取崩	0	2	0
目的積立金取崩額	2	462	541
計	12,865	15,248	15,563
支 出			
業務費	10,410	11,612	10,834
教育研究経費	10,410	11,612	10,834
施設整備費	432	1,565	1,449
補助金等	625	353	750
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	917	975	1,007
長期借入金償還金	7	36	36
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	0	—
計	12,393	14,544	14,078
収入－支出	471	704	1,485

【概要】

平成25年度の決算報告書における決算概要は、収入が前年度比3億1千5百万円増加の155億6千3百万円で、支出が4億6千6百万円減少の140億7千8百万円となっており、その収支差である決算剰余金は、7億8千1百万円増加の14億8千5百万円となっております。

【収支差額の概要】

収支差額は14億8千5百万円の収入超過となっております。発生要因としては、効率化による経費の節減によるもののほか、運営費交付金等の未執行額など、使途に制約のあるものが含まれております。実質的にはこれら制約のあるものを除いた残りの金額が当期における本学の裁量により執行できる金額となっております。なお、収支差額は、次期以降において財務計画に基づき、計画的に施設整備などに充当する予定にしております。

財務比率

(1) 健全性

(単位:%)

財務指標	比率の意味、評価	計算式	H24	H25	備考
流動比率	一年以内に流動負債を流動資産での支払可能性で、100%超で支払財源が確保される。	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	121.1	106.3	H25 4,790,639,111円÷4,506,420,485円=106.3% H24 4,601,431,364円÷3,798,414,219円=121.1%
自己資本比率	自己資本の総資産に対する割合で、数値が大きいほど健全性が高い。	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債+純資産}}$	81.8	80.4	H25 53,201,959,197円÷66,183,706,301円=80.4% H24 53,174,544,522円÷64,995,799,249円=81.8%

(2) 効率性

(単位:%)

財務指標	比率の意味、評価	計算式	H24	H25	備考
人件費比率(業務費)	業務費に占める人件費の割合で、数値が大きいほど教育研究活動の財源確保ができない。	$\frac{\text{人件費}}{\text{業務費}}$	60.9	62.0	H25(対業務費) 7,252,768,502円÷11,690,494,087円=62.0% H24(対業務費) 7,241,115,588円÷11,889,622,690円=60.9%
人件費比率(経常費用)	経常費用に占める人件費の割合で、数値が大きいほど教育研究活動の財源確保ができない。	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常費用}}$	57.2	57.8	H25(対経常費用) 7,252,768,502円÷12,551,435,302円=57.8% H24(対経常費用) 7,241,115,588円÷12,651,429,265円=57.2%
一般管理費比率(業務費)	業務費に対する一般管理費の割合で、数値が大きいほど非効率。	$\frac{\text{一般管理費}}{\text{業務費}}$	6.3	7.3	H25(対業務費) 849,946,939円÷11,690,494,087円=7.3% H24(対業務費) 746,586,766円÷11,889,622,690円=6.3%
一般管理費比率(経常費用)	経常費用に占める一般管理費の割合で、数値が大きいほど非効率。	$\frac{\text{一般管理費}}{\text{経常費用}}$	5.9	6.8	H25(対経常費用) 849,946,939円÷12,551,435,302円=6.8% H24(対経常費用) 746,586,766円÷12,651,429,265円=5.9%

(3) 発展性

(単位:%)

財務指標	比率の意味、評価	計算式	H24	H25	備考
外部資金比率	経常収益に占める外部から獲得した収益の割合。	$\frac{\text{受託研究、受託事業収益+寄附金収益}}{\text{経常収益}}$	7.6	8.0	H25 1,010,961,306円÷12,577,861,831円=8.0% H24 968,612,470円÷12,752,115,817円=7.6%

(4) 活動性

(単位:%、千円)

財務指標	比率の意味、評価	計算式	H24	H25	備考
業務費対教育経費比率	業務費に占める教育経費の割合で、数値が大きいほど教育にかかる活動性が高い。	$\frac{\text{教育経費}}{\text{業務費}}$	15.1	15.5	H25 1,807,033,551円÷11,690,494,087円=15.5% H24 1,799,361,000円÷11,889,622,690円=15.1%
業務費対研究経費比率	業務費に占める研究経費の割合で、数値が大きいほど研究にかかる活動性が高い。	$\frac{\text{研究経費}}{\text{業務費}}$	13.4	11.4	H25 1,328,831,814円÷11,690,494,087円=11.4% H24 1,591,368,457円÷11,889,622,690円=13.4%
学生当教育経費	学生一人当たりの教育経費で、教育活動の活発さを判断する一指標。	$\frac{\text{教育経費}}{\text{在籍学生数}}$	307	315	H25 1,807,033,551円÷5,719人=315千円 H24 1,799,361,000円÷5,855人=307千円
常勤教員当研究経費	教員一人当たりの研究経費で、研究活動の活発さを判断する一指標。	$\frac{\text{研究経費}}{\text{常勤教員数}}$	3,241	2,717	H25 1,328,831,814円÷489人=2,717千円 H24 1,591,368,457円÷491人=3,241千円

(5) 収益性

(単位:%)

財務指標	比率の意味、評価	計算式	H24	H25	備考
経常利益比率	経常収益に対する経常利益の割合で、数値が大きいほど収益性が高い。	$\frac{\text{経常利益}}{\text{経常収益}}$	0.8	0.2	H25 26,426,529円÷12,577,861,831円=0.2% H24 100,686,552円÷12,752,115,817円=0.8%